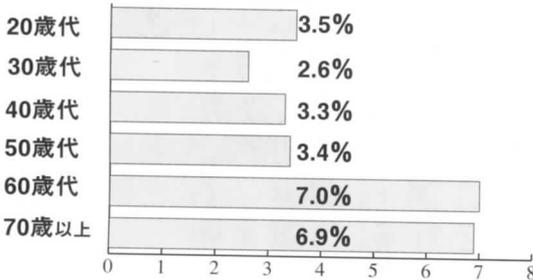
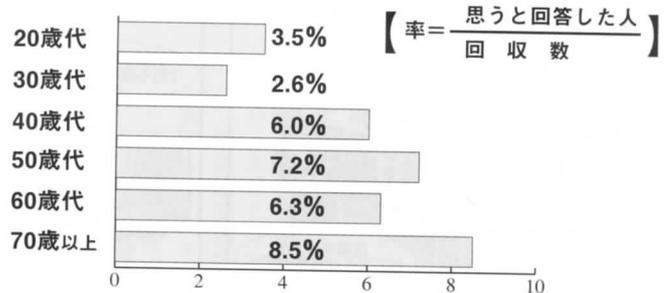


# ウェルネス・アクションつる



●子育てを応援するサービスや専門家が充実し、相談の窓口もわかりやすいと思う人の割合



●子育てを支える活動が地域で行われていると思う人の割合

【率 =  $\frac{\text{思うと回答した人}}{\text{回収数}}$ 】

**出席者の声**  
 具体的なことは何も決めないまま「とりあえず志のある人、少人数で」と言うことでスタートしたネットワーク会議ですがメンバーそれぞれの立場で感じていること、持っている情報など、率直に語り合える貴重な集まりとなりました。本音での話し合いからは学ぶことも多く、毎回楽しみに出席しています。お役目が集まっているのではなく、何かをまとめて形にしなくてはいけないという期限があるわけでもありません。ただ、より良い子育て環境を望み、必要なことは何なのかを考え、縄張り意識を持たずにできることから始めてみようという心が集まっていると言えるでしょう。

**出席者の声**  
 子どもが社会人になる時が子育ての一区切りだとしたら今の私はおわりに入りつつある母親です。でも、今更ながらに子育ての難しさを痛感しているのも事実です。このたび、いろいろな人達と出会う機会を得ることができ、意見や情報交換をする中で少しでも自分自身を高めていくことができたいと思います。私の周りの小さな子ども達やその親に今だからできる手助けがあるのではないかと思います。微力ですがこれからも勉強していきたいと思っています。

**子育てネットワーク会議**  
 上記アンケート調査からも、地域の中で子育てを見守るための交流の場や相談窓口及び関係者と話し合う場など、子育てを応援していく基盤の整備の必要性が求められています。そのためには、まず子育てを支援する関係者同士が共通の認識で理解しあい、情報交換を行い、共に学んでいくことも重要になります。そこで現在月一回ですが、子育て支援に関わる人たち(看護師、子育て支援センター館長、学校の先生、児童委員、福祉事務所担当者、保健師など)が集まり、さまざまな立場から情報交換を始めました。話し合いの中では、地域全体で子育てをしようと言われているにもかかわらず、母親一人に子育ての責任を課せられている、子どもの生活体験が少ない、母親自身が食事をしつかりしない、包丁を一日中使わない生活で子育てをしている、障害のある子ども達の療育訓練をする場がないなどの課題や、「子育てサポートセンター」「病後児保育」「一時預かり保育」などサービスへの期待、自分が参加したセミナーの報告やそれぞれの立場での実践報告などが話題になっていきます。その中で、まずは生活の基本となる「子ども達の食の問題に取り組んでいこう」と子育て支援センターとの連携の立場において子育てのうえで役立つよう、役立てられるよう関係者と行政という立場を超え、「子育てを応援していきたい」という共通の思いに向かいネットワークの輪がさらなる広がりをもつことを願っています。

子ども達がより健やかに育つために、お母さん達が子育てをしながらも自分らしく生きることを応援するために熱い思いを持ちつつ今後話し合いを続けていきたいと思っています。

問合せ  
 健康推進課 保健指導担当  
 ☎(46)5113 (内線124)